

住 所：東京都渋谷区神宮前 5-8-2

ホームページ：http://www.nurse.or.jp/

従業員数：200 人（内訳：男性 27 人 女性 173 人）

業 種：政治・経済・文化団体

看護職員が働きつづけられる職場づくりにより、定着率アップを推進

1. 取組みの概要

(1) 普及に関するサービス・商品

2006 年 12 月の事業開始当初においては「WE NEED YOU」のポスターとパンフレットを作成し、会員への事業の趣旨の浸透ならびに対外的な PR に重点的に取り組んだ。事業を本格的に展開することとなった 2007 年度は、(1) 新卒看護職の早期離職防止対策として、看護学生が自身に最適な職場を探すポイントをまとめた小冊子「看護学生のための職場さがしガイド SAGASU SUPPORT BOOK」(以下、SAGASU SUPPORT BOOK)。(2) 医療従事者の WLB の実現を目指し、組織全体で看護職の確保・定着に取り組む看護管理者を支援する小冊子「看護管理者のための選ばれる職場づくりマニュアル SHOKUBA SUPPORT BOOK」(以下、SHOKUBA SUPPORT BOOK)の 2 冊子を作成・配布した。

(2) 普及活動

病院においては組織一丸となって変革を進めるにあたって、とくに病院経営者の理解と協力が不可欠であるとの認識から病院団体と連携した事業展開にも取り組み、中小民間病院を主な会員とする社団法人全日本病院協会と共催で、組織変革の推進者となる病院長・事務長・看護管理者がともに参加する衛星通信研修「医療従事者に選ばれる職場づくり」を 2008 年 12 月 6 日に開催し全国の受信会場に配信。また、厚生労働省の補助を受け、中央ナースセンター(看護職員確保センター)事業の一環として「看護職の多様な勤務形態による就業促進事業」を 2007 年度からの 3 ヶ年計画で着手しており、初年度は、多様な勤務形態を先行導入している 22 病院の情報を収集し、本会ホームページ等を通じて発信した。

さらに本事業では、ワーク・ライフ・バランス塾と学習院経済経営研究所が開発したワーク・ライフ・バランス インデックス(WLB INDEX)調査を医療版に改変し、2007 年度は 109 病院を対象に施設調査を実施し、医療施設の WLB 制度の導入の現状を初めて明らかにした。

2. ワーク・ライフ・バランス推進に取り組んだ経緯、理由

わが国の看護職員就業者数は、半世紀で約 5.5 倍になり 2005 年末時点で 130 万人を超えた。しかし、少子高齢化、医療の高度化に対応するためには、まだ十分な就業者数とはいえない。さらに、18 歳人口の減少により、将来的には毎年 5 万人前後で推移している新卒看護職の入職が見込めなくなる一方、約 55 万人と推計(厚生労働省、2004 年)される潜在看護職の再就業は進んでいない。

今後、医療機関が「必要とされる人材の確保・定着」を行い、看護職が「専門職としてのキャリアの継続」を目指さない限り、国民に十分な保健医療福祉を提供することが難しくなることが予測される。しかし、看護職の 9 割以上が女性であり一般的に「生活」への比重が重くなる時期が多いにもかかわらず、交代制勤務(特に夜勤)ができて、残業もいとわない

画一的なフルタイム勤務を求める医療施設がほとんどで、ワーク・ライフ・バランス支援の重要な方策である多様な勤務形態もほとんど取り入れられていなかった。夜勤・残業をいとわない画一的な働き方が何らかの理由でできなくなれば、職場を去らざるを得ず、潜在看護職の増加要因、さらに現場復帰を阻む要因となっている。

今後、看護職員の質的・量的な確保のためには、看護職員が働き続けられる環境を整え、ワーク・ライフ・バランスを実現しながら就業が継続できるようにすることが喫緊の課題である。そこで、看護職の職能団体である本会が、2006（平成18）年12月から2010（平成22）年3月末の3年4ヶ月間を当面の実施期間とし、協会長を本部長とする日本看護協会看護職確保定着推進本部を発足し、「国民に安全で質の高い看護を提供するために、看護職の確保定着を支援する」という構想を掲げ、取組みを始めた。

3. 取組みによる具体的効果

【2007年度】

- ① ‘WE NEED YOU’ ポスター・パンフ作成・配布数ポスター 6万部、パンフ 40万部
- ②2007年度 看護学生のための職場さがしガイド SAGASU SUPPORT BOOK 作成・配布数：10万部
- ③2007年度 看護管理者のための選ばれる職場づくりガイド SHOKUBA SUPPORT BOOK 作成・配布数：8万部
- ④2007年度 都道府県看護協会の普及・啓発活動の支援：延べ訪問回数 92回
- ⑤マスコミに対するプレス懇談会の開催（2回）
- ⑥マスコミに対するニュースリリースの配信（3回）
- ⑦都道府県看護協会に対するニュースリリースの配信（11回）
- ⑧看護職のWLB普及のための「看護の日」のポスターの作成と配布：4万枚
- ⑨多様な勤務形態導入先行 22施設の情報提供：本会ホームページ「看護職確保定着推進事業サイト」内で配信

【2008年度】

- ①2008年度 看護学生のための職場さがしガイド SAGASU SUPPORT BOOK 作成・配布数：13万5千部
- ②2008年度 看護管理者のための「働き続けられる職場づくり」マニュアル SHOKUBA SUPPORT BOOK 作成・配布数：20万部
- ③協会ニュースでWLB特集および連載
- ④TBS テレビ『ナース Smile』の番組提供および取材協力（4～9月、全26回）
- ⑤マスコミに対するプレス懇談会の開催（2回）
- ⑥マスコミに対するニュースリリースの配信（7回）
- ⑦都道府県看護協会に対するニュースリリースの配信（12回）
- ⑧看護職のWLB普及のための「看護の日」のポスターの作成と配布：4万枚
- ⑨2008年度 合同衛星通信研修

2007年病院看護実態調査結果速報によると、看護職の確保定着対策として「夜勤専従・パートタイマー・短時間勤務導入等による勤務形態の導入」に「取り組んでいる」が41.7%、すこし取り組んでいる37.9%に上り、取り組んでいる施設の中で、「夜勤専従・パートタイマー・短時間勤務導入等による勤務形態の導入」が「看護職の確保定着に効果があった」と回答した割合が69.7%に達した。

以上